

尖閣列島、逃げ腰外交」

今日は、腹が立って我慢ならんばい！
この憤り 忘れまいぞ！
もう絶対に民主党に協力しない、ここに誓う

利」を取るか、それとも 義」を取るか？

今回の日本政府は、目先の「利」を選択した。
なにも自分の意見も主義主張もまったくしないままに・・・。

「お金という目先の利益」を優先して、
日本という国家にとり一番大事な「信頼という義」を捨てたことになる。

この意思決定を欧米、アジア、諸外国が見て、どう日本の意思決定を評価するのか？
「日本という国」の名誉・・・地に落ちた！
もう信頼も信用も出来ない国と蔑まれた。
一番大切にしている判断基準は・・・「利」つまり「お金」

日本人として全く、残念だ。
日本人として、誇り プライド、どうなるのか？

今まで、私が海外に行った経験からすると、アジア・台湾では日本人は尊敬されていた。
そして最低でも信頼され、憧れる民族、国家であった。
太平洋（第2次世界大戦）戦争では負けはしたが、アングロサクソンと対等に戦い、植民地支配から
民族独立の契機となったことは間違いない事実であり、尊敬に値する国家であった。

明治維新以降、武士道という精神が日本人の心にあったことは事実であった。
しかし、今回の事件は「義」の精神を・・・捨ててしまった！

<コメント>

台湾を救った陸軍中将根本博の奇跡「この命、義に捧ぐ」
この著書を読んだばかりでもあり、日本人の心。
大切なものを忘れてしまっているそんな気がしてならない。
つまりは、人間としての生きる為の、哲学・思想・価値観を学んでいないために何が大切なのか？
意思決定する時に判断出来ないのではないか？そう感じる。
危機だ、日本人の心が壊れて来ている。

この尖閣列島問題を、日本人がどれだけ、自分の問題として、**生体的に」考えているのか？**
24日、金曜日の夜の地下鉄に乗りながら考え、俯瞰してみた。
「やばいぞ！」
日本人の心、どうなっているのか？
未来の希望無きまま、目先の損得に走るのか？